

令和3年度の事業報告書

特定非営利活動法人

かしわ環境ステーション

1 事業の成果

令和3年度は、コロナ感染2年目を迎え前年と同様にイベントの中止、規模縮小が続いた。そのため、今年度も内容は昨年同様の内容の乏しい成果報告となった。

ただ、今年度も会員および協力メンバーだけで行う自然環境の保全を目的とした調査・研究活動は、感染防止対策を講じながら従来と変わらない活動を継続して行えた。また、今年度も環境公開勉強会やセミナーにオンラインでの手法を取り入れることになったが、事前の告知に課題を残した結果となった。イベントの案内に趣向を凝らさなければならぬことが分かった。

令和3年度、中止となった事業、イベントは次の通り。

●持続可能な地域づくりに関する 普及啓発事業のうち

子ども環境教育活動

環境教材作成事業・手賀沼パンフレット作成

手賀沼ガイドボランティア研修

令和3年度、一部中止、規模縮小となった事業、イベントは次の通り。

●持続可能な地域づくりに関する 普及啓発事業のうち

コアジサシ保護活動

手賀沼船上ガイド(小学生を対象にした屋外環境学習) 船の定員が縮小

●持続可能な地域づくりに関する 人及び団体の交流とネットワークの構築事業のうち

柏の自然と生き物フェスタ

環境保護活動団体に協力

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)持続可能な地域づくりに関する調査・研究事業	①生物多様性保全目的のため協力団体の柏自然ウォッチャーズのメンバーの協力も得て、自然環境保全エリアの調査保全活動を継続して今年度も行った。参加メンバーを7グループに分け対象重点地区の地域	年間を通して実施	柏市内全域	会員及び協力メンバー 約55名	柏市民不特定多数

	<p>を継続的に調査を行った。</p> <p>②今年度も平成 30 年度から始めた休耕田の復田、谷津の保全に取り組み、休耕水田の約 4 分の 1 を復田し、試験的に稲作を行った。収穫量は 32 kg、活動も本格化し、準備を重ねて令和 3 年度より田植えができるまでになった。ビオトープ整備はまだ不十分だが、希少生物を保全するための第一歩となった。</p>	<p>復田活動は年に 25 回程度</p>	<p>柏市 手賀近 辺</p>	<p>回によって異なるが 2～5 名</p>	<p>柏市民不特定多数(延べ 40 人)</p>
<p>(2)持続可能な地域づくりに関する情報収集・発信事業</p>	<p>①ソーラープロジェクト活動の初年度は市民ソーラー発電所設置を目指し、その収益を花火に充てたり、非常用発電として利用できるように活動を継続しているが、諸般の事情により、外部プロジェクトに加わり参加して第一歩を進むことになった。最終的にはかしわ市民発電所の実現をめざしたい。</p> <p>②柏の環境を市民で考える公開環境勉強会をオンラインで開催した。</p> <p>「SDG s 2021 国連レポートの概要」や「EV 電気自動車の現状と日本に課題」「SDG s と終活を考える」「小学校の SDG s 教育」などをテーマに参加者同士の意見交換から環境に関する情報の収集を行う</p>	<p>年間を通して実施</p> <p>3/13 3/27</p>	<p>柏市内 パレット柏、 環境ステーション事務局より発信</p>	<p>各 4 名</p>	<p>柏市民不特定多数</p> <p>オンライン参加者計約 10 名</p>

	<p>とともに環境問題を考える意義について伝える機会を設けた。</p> <p>③「試行錯誤した築 30 年マイホームの省エネ化事例の紹介」をテーマにしてオンラインセミナーを開催した。実際に築 30 年の住宅での長期にわたる試行錯誤した省エネの取り組みを紹介したのち、住宅の省エネについての質問や疑問に対してプロが答えて意見交換を行った。</p> <p>④「広報かしわ」やホームページ、前年度から始めた Facebook を活用してイベントへの積極参加を呼び掛けた。</p>	1/29	柏市内より発信	10 名	オンライン参加者約 20 名
		年間を通して実施			柏市民不特定多数
(3)持続可能な地域づくりに関する普及啓発事業	①新柏地区自然観察会はあいにくの雨だったが、応募者多数で抽選となった。開発により大きく変わった新柏地区に残された豊かな自然と生きものを体感して自然の大切さに関心を持つてもらうことができた。	6/19	柏市内新柏地区	20 名	
	②絶滅危惧種コアジサシの保護活動、関係するイベントのほとんどが中止となり、回収したデコイの補修はスタッフ(従事者)のみで行った。210 体補修。	4/4	柏市内環境ステーション事務局	9 名	スタッフのみ
	③小学校の船上見学は 3 校申し込みがあったが、コロナ感染拡大の影響		手賀沼	2 名	市内市立小学校 68 名

	で1校のみ実施できた。				
(4)持続可能な地域づくりに関する人及び団体の交流とネットワークの構築事業	①講演会「知ってますか、柏のニューカマー」は講師による話が大変分かりやすく、講師の体験・研究した話で実際の写真を見ながら熱心に聴講していただいた。	10/23	アミューゼ柏 1F プラザ	6名	来場者約 30 名
	②巡回写真展は関連市民活動団体への参加、一般市民の参加を呼び掛けた。市内巡回写真展のテーマは「柏こんな生きものが」毎年参加していた環境保護団体の開催する利根運河協議会の「利根運河の保全」には参加しなかった。	10/8～ 10/24 延べ 16 日間	パレット柏、ラコルタ、柏の葉公園	計 28 名	来場者 500 名～ 1000 名
	③柏第三小学校へ出向き、「手賀沼に関する勉強会」を行った。		市内市立小学校	1 名	5 クラス 168 名